

「腹部クローヌスを呈した症例の検討」 について

加古川中央市民病院 脳神経内科では、クローヌスの治療を受けられた患者さんについて下記の報告を行います。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

〔研究概要及び利用目的〕

神経疾患において不随意運動はしばしばみられる神経徴候です。クローヌスは上位運動ニューロン障害を示す徴候（筋緊張の亢進、深部腱反射の亢進、病的反射の出現など）であり、足関節や膝関節にみられるのが一般的です。まれに、下顎、肘、手関節、指にも見られる事が知られています。今回、腹部に見られた症例を検討することに致しました。振戦など他の不随意運動との相違点などに関して、その鑑別は重要なため、本症例報告は重要と考えられます。

〔研究期間〕

この研究は病院長承認日～ 2026年12月31日まで行う予定です。

〔取り扱うデータおよび試料・情報の項目〕

加古川中央市民病院 脳神経内科でクローヌスの治療を受けられた患者さんの下記情報を診療録より取得いたします。

- ① 基本情報：生年月日、性別、合併症、過去の手術歴、現在の内服薬、喫煙歴、飲酒歴など
- ② 疾患情報：診断名、MRI 画像、不随意運動の動画

〔個人情報保護の方法〕

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

〔試料・情報等の保存・管理責任者〕

加古川中央市民病院 脳神経内科 責任者氏名：島谷 佳光

〔データおよび試料提供による利益・不利益〕

利益：通常診療の情報をういており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

〔登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて〕

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に

保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人が特定される情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意取りやめの申し出された時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加の辞退または同意撤回の申し出があった場合には、患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 脳神経内科
研究責任者名 島谷 佳光
連絡先：079-451-5500